

四月は残酷極まる月だ

T・S・エリオットの有名な「荒地」の冒頭です。この長編の詩は、ヨーロッパが第一次世界大戦で荒廃し、スペイン風邪がパンデミックとなった時代を背景に発表されました。

新型コロナウイルスの流行はようやく収まりましたが、連日報道されるウクライナでの激しい戦争は一年以上続いており、この詩を思い起こさせます。

さて、本号の特集は「同志社のジェンダーギャップを考える」で

した。現在では、人種・年齢・性別・能力・価値観など様々な違いを持つ人々が組織や集団で共存することの重要性が広く認識され、ダイバーシティの推進が奨励されています。中でもジェンダーギャップの解消は、早くからその必要性が認められていました。

私の専門とする経済学でも、日本では労働において賃金・雇用形態等に男女間格差の大きいことが指摘され、その解消は重要な課題とされています。同志社のジェンダーギャップを

考えるとき、新島八重はとても大きな存在です。特集の鼎談(ていだん)で触れられているように、八重さんはすでに当時から一貫して性別役割分業に縛られることなく生きていました。

皆さんもよくご存じのように、八重さんは昭和初期の教育者と紹介されますが、二〇代には戊辰戦争で自らスペイン銃を持って奮戦した人物です。

同志社のジェンダーギャップを考える時には、その考え方や行動の規範となる人物として、八重さ

んとそのパートナーである新島裏を想い描けようってつけてしょう。

四月は、様々な個性を持つ多様な新入生を迎え入れるときです。そうした新入生を含めて、世界すべての人々にとって明るい希望に満ちた四月になることを願ってやみません。

今号も、多くの方から素晴らしい原稿をお寄せいただきました。紙面をお借りして、心よりお礼申し上げます。今後とも「同志社時報」を、どうぞよろしく願ひ申し上げます。(北坂)

●同志社広報委員会小委員会委員

○印委員長

- | | |
|-----------------------|-------|
| 大学神学部助教 | 木谷佳楠 |
| 大学文学部准教授 | 杉浦秀行 |
| 大学社会学部教授 | 松山紀一 |
| 大学法学部教授 | 長谷川一年 |
| ○大学経済学部教授 | 北坂真一 |
| 大学商学部准教授 | 内野雅 |
| 大学政策学部教授 | 井口大 |
| 大学文化情報学部助教 | 深川隆生 |
| 大学理工学部教授 | 土屋和悟 |
| 大学生命医科学部准教授 | 日和岡義之 |
| 大学スポーツ健康科学部教授 | 福山神誠 |
| 大学心理学部教授 | 岡田諷文 |
| 大学グローバル・コミュニケーション学部助教 | 諏訪渡辺 |
| 大学グローバル地域文化学部助教 | 影山貴彦 |
| 女子大学学芸学部教授 | 影山正和 |
| 女子大学現代社会学部教授 | 大津山内 |
| 女子大学薬学部准教授 | 山内由加 |
| 女子大学看護学部准教授 | 片山英子 |
| 女子大学表象文化学部准教授 | 辻生美希 |
| 女子大学生活科学部准教授 | 辻生美希 |
| 中学校・高等学校事務長 | 鎌田山一 |
| 香里中学校・高等学校事務長 | 内山栄行 |
| 女子中学校・高等学校事務長 | 磯田信浩 |
| 国際中学校・高等学校事務長 | 貴川久利 |
| 小学校事務長 | 岡藤繪 |
| 国際学院事務長 | 柳井望 |
| 幼稚園教諭 | 遠藤邦 |
| 法人事務部長 | 朝田直 |
| 大学広報部長 | 田原伸 |
| 法人事務部校友同窓課長 | 矢中伸 |
| 大学広報部広報課長 | 中原一郎 |
| 女子大学広報部広報室広報課長 | 渡邊 |

※職名は同志社広報委員会小委員会発足時のものです。

●編集協力 アルカダッシュ

●同志社時報の申し込み

・送料(ゆうメール着払い:1冊241円)のみのご負担でご講読いただけます。

・お申し込みは、綴じ込みハガキをご利用ください。
 ・宛先 〒602-8580 京都市上京区今出川通丸東入
 同志社大学広報課

同志社時報 第155号
 編集人 北坂真一
 発行人 八田英二

発行 学校法人同志社
 同志社大学広報課同志社時報係
 電話 (075) 251-3120
 印刷所 株式会社あおぞら印刷
 2023年4月1日発行